

## 第1回須坂市学校給食センター運営委員会 会議録（要旨）

### 1. 開催日等

日時 2024年10月7日(月) 13時30分～14時40分

場所 須坂市学校給食センター2階会議室

### 2. 出席者

運営委員11人（欠席者2人）、事務局8人、運営委託事業者1人

### 3. 配布資料

会議次第、2023年度事業報告、2024年度事業報告（8月末現在）、スライド資料「学校給食が担う食育」、2024年度児童生徒食物アレルギー実態調査資料、食育リーフレット「早ね早おき朝ごはん」

### 4. 協議状況

#### (1) 開会

#### (2) 教育長挨拶

#### (3) 自己紹介

#### (4) 会長・副会長の選出について

・互選により、会長は中島委員、副会長は武藤委員に決定した。

#### (5) 会議事項

①2023年度学校給食センター事業報告

②2024年度学校給食センター事業について

③須坂市の給食と食育について

#### 【質疑】

委員：食物アレルギーの児童については、小学校一年生で面談を実施して2学期から対応食の提供を開始しているが、できるだけ早いうちに面談を行い、できるだけ早く対応していただければありがたい。

事務局：1学期中から対応食を提供できるか、学校給食センターと学校とで十分検討していきたい。

委員：学校給食費について、昨年度は補助金があり保護者も助かったと思うが、今後も補助金などを使える見通しがあるのか。

事務局：現年度は、補助金や交付金の見込みはないが、今後も、国の情勢を見ながら、保護者の負担が増えないようにしていきたい。

委員：朝食を食べる率が少し下がっていることについて、学校と給食センターが連携しながら食育をやっていて、小学5年生になると家庭科で味噌汁を作るが、なかなか朝食を作れないおうちの中にはあると思うので、そこへのアプローチをしていったら良いと思う。

事務局：長野県の食に関する児童生徒の実態調査の結果では、朝食を食べる子どもの割合は下がっているが、学校別の調査では、「朝食を食べてきた」という回答が100%の学校もある。子どもたちの朝食の意識についても調べているが、「朝食を食べることが自分にとって必要だと思う」と回答した

割合がかなり高かった。このことから、今まで続けてきた食育が、知識としてはある程度の効果はあったというところで、いかに実践に繋げていく力を育てていくかが大事になってくると考えている。朝食については各家庭の様々な状況があるので、皆さんの意見を聞き、考えていこうと思っている。特に、須坂市の「食で健やか計画」の中では、小学5年生と中学2年生で、ご飯を炊くことができる割合を高めていくということが掲げられている。学校の学習が子どもたちの実践の力に繋がっていくので、栄養教諭が行う食育も繋げていきたいと考えている。

委員：毎日子どもたちのためにアレルギー対応や栄養バランスを考えて、おいしい給食の提供をしてもらえてありがたい。給食費については、PTAから無償化してもらいたいという意見が多く出ている。無償化になっている県もある。去年は、地方創生臨時交付金や重点支援交付金があったので保護者負担が変わっていないということを今日初めて聞いた。国の補助金がなくても、今後も、保護者の負担を減らすように続けてもらえればありがたい。

事務局：去年も食材費が上がっていたので、国の交付金を一人あたり4万円分給食費に充てた。今年度も食材費が上がっているが、子育て世代にとっては給食費の値上げは大変厳しいということを検討し、今年度は須坂市の単独経費として負担している。来年度以降も単独経費になっても継続したいという気持ちはあるので、近隣の状況なども見ながらやっていきたい。残食が一人当たり20gということも食育の勉強でやってはいるが、そういうことを保護者の皆さんにどうやって伝えていけば良いかが課題。

(6) 事務連絡

(7) 閉会